

資料の刊行

(昭和60年1月～3月)

<資料題名(発行年月日)>

<担当者>

○「研究資料」第234号(昭60. 3. 1)

人口統計資料集 1984

山口 喜一技官
金子 武治技官
山本 道子技官

○人口問題についてのおもな数字 昭和60年1月版

人口情報部

第23回国連人口委員会

表記の委員会(The Twenty-third Session of Population Commission)が1985年2月19日から28日までニューヨークの国連本部で開催された。今回、本委員会の主要議題は1984年8月にメキシコ・シティで開催された「国際人口会議」における「世界人口行動計画の継続実施のための勧告」をうけて、国連がそれを具体的に実現するための方策を審議することであった。

予め事務局によって準備された議事次第は次のとおりであり、ほぼその通り進められた。

議題1 役員選出

議題2 議題の採択その他

議題3 1984年国際人口会議：国連がとるべきフォロー・アップ

議題4 1974年世界人口会議の勧告を実施するため国連が行った活動：人口動向と政策のモニタリング

議題5 1986～87年における人口分野の事業計画および1984～85年事業予算の実施

議題6 第24回人口委員会の暫定議題

議題7 第23回人口委員会報告書の採択

役員選出については、議長にインドのカプール氏、副議長にブルガリアのカライデエフ氏、コスタリカのモルガン氏、ナイジェリアのカデホ氏、ラボルツールにスウェーデンのメリン女史が選出された。

なお参加者は本委員会のメンバーであるボリビア、ブラジル、ブルガリア、カメルーン、中国、コロンビア、コスタリカ、エジプト、フランス、ドイツ連邦共和国、インド、日本、マレーシア、モーリシアス、メキシコ、オランダ、ナイジェリア、スーダン、スウェーデン、タイ、トーゴ、トルコ、ウクライナ共和国、ソ連、イギリス、アメリカ合衆国、ザンビアの代表のほか、オブザーバーとして国連加盟国のアルジェリア、アルゼンチン、バングラデシュ、キューバ、フィンランド、ノルウェー、パキスタン、ユーゴスラビアの代表とさらに非加盟国からホーリー・シーと韓国が代表が出席した。ほかに国際労働機関などの国連の専門機関、政府間機関(EEC)、IPPFなどの非政府機関、国連地域委員会の代表が出席した。

役員選出、議題の採択につぎ次のとおり開会演説が行われた。

A. 国際経済社会問題担当事務次長

国連創立40周年に当る1985年に人口委員会を開催するにさいし、国連が人口分野において有意義な活動を遂行したことを評価する。それは人口委員会の指導と監督のもとに国連が人口情報、調査研究および政策分析に対する各国ならびに国際社会のたえざる要望に的確に対応したことを意味するものである。

世界人口行動計画ならびに国際人口会議における勧告を踏まえて、人口委員会が次の3点について審議を行

うことを希望する。すなわち、(a) 人口部の事業における継続性と新規性のバランス、(b) 人口分野の専門的活動と人口に関連する幅広い経済社会的活動のバランス、(c) 人口分野における各種の技術協力活動の間のバランスの問題である。

B. 開発のための技術協力担当事務次長

メキシコ会議において国際開発戦略が人口、資源、環境と開発の総合的枠組の中で形成されるべきであると勧告されたことを重視し、人口委員会がその所管する業務計画を密接に関連づけることにより、一層効率的な開発を促進することを希望する。現在、国際技術協力部で実施中の人口プロジェクトは100以上にのぼるが、その内容は人口学者その他の専門家の訓練、データの収集と分析、および人口政策と開発計画の策定に対する援助の三つである。

C. 国際人口会議事務局長

メキシコにおける国際人口会議が成功裡に終わり、88か条からなる勧告とメキシコ宣言が万場一致で採択され、それらが1984年12月の国連総会によって承認されたことを報告するとともに、今後国連システムが人口プログラムを有効に推進することの重要性ならびに国連人口活動基金を強化することが重要である。

D. 国連人口部長

国際人口会議において、人口、資源、環境および開発の相互関係、人口政策の推進、コミュニティ参加の重要性、女性の地位の評価、人口構造の変化、世帯と家族の重要性が強調された。また、死亡および疾病、出生制限、人口移動の問題が詳細に論じられた。そして国連人口部の活動の目標は政策決定を行う人々に対して、正確な、公平な、そして客観的な情報を提供することにあると考える。

以上の開会演説につづいて行われた実質8日間にわたる人口委員会の審議は、世界人口行動計画とメキシコにおける勧告の線に沿い、それを強調することに終始したといえるが、これからの最大の課題である人口分野における国際協力の実施と強化の問題に関してメキシコ会議で採択された勧告83と88をどう理解し、どう実行するかという大きな問題については、今回の人口委員会においてさまざまな意見が表明されたものの、委員会としてはっきりとまとまった見解を得るには至らなかった。この問題については、勧告に述べられているように1986年までに国連事務総長の報告がまとめられ総会に提出されるはずである。しかし次回第24回人口委員会はそれよりも遅く、1987年まで開催されない。

(岡崎陽一記)

